The Philological Foundational Materials for the *Newly Revised Edition of Nichiren Daishonin Gosho Zenshu*

Masahiro Kobayashi

In 1996, the author published "The Philological Foundational Materials for the 'Writings of Nichiren'" in the *Bulletin of the Institute for Oriental Philosophy* Vol. 12 and presented its outline at the Japanese Association for Religious Studies. In the past 30 years, numerous new findings concerning the earliest known sources for Gosho have been clarified. On the occasion of the recent publication of the *Newly Revised Edition of Nichiren Daishonin Gosho Zenshu*, this paper is presented as a revised and expanded version of the earlier work.

This paper presents a list of philological items of the earliest known date of each *Gosho*, the earliest known source document, and the names of those who wrote the oldest transcribed manuscripts in the order that they appear in the new edition of the *Gosho*. In compiling this list, numerous sources were utilized. As many of the notations are indicated by abbreviations, an "Explanatory Legend" provides brief explanations. It is hoped that this will assist readers understand the positioning of each *Gosho*.

『日蓮大聖人御書全集 新版』の文献学的基礎資料

小　林　正　博

筆者は1996年に『東洋哲学研究所紀要第12号』で「『御書』の文献学的基礎資料」を掲載し、その概要を日本宗教学会で発表した。その後30年近くが経過する中で、山上弘道編の『日蓮遺文解題集成』（興風談所2024年）を初め、各御書の初見文献に関する新知見が数多く積み重ねられてきた。今回、『日蓮大聖人御書全集　新版』（創価学会2021年）が発刊されたこともあり、旧稿の改訂・増補版として発表することにした。

本稿では『新版』の御書順に文献学的な項目を新たに加え一覧化しているが、多くの略号を使用している。以下に一覧表の活用に資するよう凡例❶❷❸を設け、若干の説明を記したので、これらを参照しながら各御書の位置づけを把握して頂ければ幸いである。

【凡例❶】表上部に横に並べた項目の内容

新版№　―『日蓮大聖人御書全集　新版』（創価学会）の御書№

全集頁　―『日蓮大聖人御書全集』（創価学会版）の御書の頁

昭定№　―『昭和定本　日蓮聖人遺文』（立正大学日蓮教学研究所編）の遺文№

題号　　―『日蓮大聖人御書全集　新版』の題号

題号の前の記号―◎は真蹟現存、○は真蹟曽存　◇は直孫弟子レベルの写本・引用存

現存率と昭定脚注　―

「現存率」―各御書の本文に占める真蹟現存の率 A100％完存　B70％以上　C40％以上　D10％以上　E10％未満　（断簡は本文に占める真蹟現存率が100％なのでAとした）

「昭定脚注」―『昭和定本』の脚注【寫】に記される写本者名や遺文集を示す。
略号で表記しているので、これらは凡例❷❸参照

初見年代 ― 西暦で表記、各御書の初見文献の成立年代
なお「-1500」など「－」がついた年代は初見文献の作者の逝去年を表わし1500年までの成立という意味を表す。

〈 初見年代確定の根拠となる文献名・僧名は、次の「初見文献」❷と「古写本者名」❸と「注記」のいずれかを表中強調文字で示している 〉

初見文献 ―「初見年代」の根拠となる目録類・写本・遺文集などを略号で表記。略号についての説明は凡例❷を参照

古写本者名 ― 直・孫弟子レベルの写本類・引用文献を略号で表記。強調文字は、その御書の初見年代の根拠を示している。［略号の説明は凡例❸を参照］

注記 ― 注記の番号は『御書新版№』を示す。上記の強調文字で示した「初見文献」「古写本者名」での初見の根拠以外については、「注記」として文章化した。
その中で初見の根拠を述べた番号は強調文字で表している。強調文字ではない番号は、必要と思われるその他の文献情報を記した。

以上、各御書の「初見年代」の文献的な根拠は**「初見文献」「古写本者名」「注記」**いずれかの表中強調文字によってわかるようにしている。

【凡例❷】初見文献の略号説明

「常目」 1299年 「常修院本尊聖教事」富木常忍の目録『昭和定本』2729頁

「金綱」 -1314年 六老僧日向（1253-1314）の作とされる「金綱集」
身延三世日進・四世日善等の写本存（『日蓮宗宗学全書』13巻14巻）

「日叡」 1337年 保田日叡の「本迹問答十七条」『富士宗学要集』第６巻

「祐目」 1344年 「本尊聖教録」 中山三世日祐の目録『昭和定本』2732頁

「日全」 1344年 「法華問答正義抄」中山門流日全（1295-1344）作 全22巻（立正大学蔵）

「日朝」 -1364年 日目弟子日朝（～1364）の写本

「日記」 -1400年「御書目録日記之事」（日什門流系の作か） 身延11世日朝写本存

「平内」 1448年 平賀本録内 第一類 平賀日意（1421～1473）の写本

1528年　平賀本録内　第二類 大永八（1528）年に集成した日遊複写本　日信書写

「日実」 1461年　中山門流日実「当家宗旨名目」（身延文庫蔵の写本存・都守基一・川上大隆「本成房日実著『当家宗旨名目』の翻刻」『日蓮仏教研究』５号）

「日隆」 1464年　八品派日隆本（1385～1464）

「健外」 1473年　弘経寺日健の録外写本（1473 は日健が真如院日住の写本を転写した年による（冠賢一・高木豊編『日蓮とその教団』吉川弘文館　1999年）

「啓運」 1503年　「啓運抄」円明日澄（1441-1510）の著述「御義口伝」「御講聞書」の原形と考えられる　『興風叢書20』

「朝外」 -1500年　日朝本録外、 身延11世日朝による録外御書『昭和定本』2781頁

「意目」 -1519年「大聖人御筆目録」の身延蔵の真蹟目録 身延12世日意の目録　『昭和定本』2742頁

「註画」 1536年　円明日澄（1441-1510）の「日蓮聖人註画讃」本圀寺本が最も古い

「意外」 -1519年　日意の大聖人御筆目録の中の「録外之分御筆御書」『昭和定本』2742頁

「受外」 -1580年『他受用御書』刊行は慶安二（1649）年『本化聖典解題提要』227-234頁

「三外」 -1583年『三宝寺録外』『昭和定本』2788頁

「満外」 1595年　『本満寺録外』『昭和定本』2783頁

「乾目」 1603年　「身延山久遠寺御霊宝記録」身延21世日乾の目録、『昭和定本』2745頁

「日遠」 1605年　身延22世日遠の身延所蔵御書目録　山川智応『日蓮聖人研究』第二巻

「延外」 -1652年「延山録外目録」日暹の写本が伝わる（『日蓮聖人遺文辞典』122頁）

「刊外」 1662年　『刊本録外御書』 1662年に刊行　『昭和定本』2792頁

「日諦」 1779年　「祖書目次」建立日諦編　安永八（1779）年刊行　『昭和定本』2814頁

「日騰」 1842年　大石寺学頭日騰「新定祖書目録攷異」『昭和定本』2832頁

「縮一」 1904年　霊艮閣版の『縮刷遺文』（387編）の新規追加　第一続集　89編

「縮二」 1920年　『縮刷遺文』の第二続集　29編

「昭定」 1952年　『昭和定本日蓮聖人遺文』１～３巻（1952-4年までの発刊 1952年で統一）

「昭四」 1959年　『昭和定本日蓮聖人遺文』第４巻

「新定」 1966年　『昭和新定　日蓮大聖人御書』（大石寺版）

「四補」 1988年　『昭和定本日蓮聖人遺文』第四巻　改訂増補

【凡例❸】古写本者名　強調文字で示した僧名は初見年代の根拠となる写本・引用がある。ここではその生没年代を記す。

興：日興（1246～1333.2）-1298 は日興文書で大石寺蔵のもの（1298年まで大石寺在住）
-1333 は日興逝去年までの成立を意味する

＊興：従来日興写本と言われてきた31編の御書を＊興と表記し、数字は『富士大石寺蔵日興上人御筆　日蓮大聖人御書』（妙真寺発刊 1987年）の御書№を示す。しかし、これらは日興在世中の写本として価値があるが、日興の文字ではないので伝日興写本とする（小林正博「大石寺蔵日興写本の研究」東洋哲学研究所紀要24号）

［　日興門流　］

目：大石寺３世日目（1260～1333.11）
澄：重須初代学頭日澄（1262～1310）
尊：日興弟子日尊（1265～1345）
代：西山本門寺日代（1294～1394）
順：重須２代学頭日順（1294～1356～）
道：大石寺４世日道（1283～1341）
日朝：日目弟子日朝（～1364）
郷：保田日郷（1293～1353）
叡：保田日叡（1309-1369）
時：大石寺６世日時（～1406）
有：大石寺９世日有（1402-1482）
日広：住本寺10世日広（～1487）
教：左京日教（1428～1489～）
要：保田日要（1436～1514）
辰：要法寺日辰（1508～1576）
我：保田日我（1508～1586）
山：保田日山（～1564～）

［　他派日蓮宗　］

常忍：富木常忍（1216-1299）
頂：六老僧日頂（1252-1317）
向：六老僧日向（1253～1314）
像：直弟子日像（1269～1342）
源：直弟子日源（～1312）
高：中山２世日高（1257～1314）
春：直弟子日春（～1311）
祐：中山３世日祐（1298-1374）
法：直弟子日法（～1341）
進：身延３世日進（1271 ？～1346）
親：日親（1407～1482）
隆：八品派日隆（1385～1464）
朝：身延11世日朝（1422～1500）
意：身延12世日意（1444～1519）
重：身延20世日重（1549～1623）
乾：身延21世日乾（1560～1635）
遠：身延22世日遠（1572～1642）

「注記」 注の番号は『御書新版』の№　強調文字で記した番号は一覧表では明示されない文献的な根拠を記した。また明朝体の番号は文献学的な情報を記した。

1　唱法華題目抄の日興写本は　296「◎南条兵衛七郎殿御書」の行間に記されている　初見は「富士一跡門徒存知事」（新版2179 日蓮宗宗学全書2-123　以下宗全と記す）

2　門下言及の初見「日興申状」正応二（1289）年　（宗全2-98）　常目が写本、祐目が真蹟であるのは、中山２世の日高の時、真蹟「立正安国論」（文永６年のもの）が返還されたことによる　現存率をBにしたのは全36紙中第24紙が中山日通の筆のため

3　日興「安国論問答に引用」（宗全2-74）大石寺蔵により、-1298年までとした。六老僧日昭の「譲与本尊聖教事」にも引用　文保元（1317）年とあり（宗全1-11）

6　日興写本奥書によれば1281年の書写

8　日興（日澄の可能性大）写本奥書によれば弘安元（1278）年の書写　なお意目・乾目は真蹟草案と記し、それぞれ「以一察万抄」「取要抄」とあるから本抄は佐渡で草案二通、身延で成案となる

11　日朝「報恩抄私見聞第二」（宗全16-93）で引用　文明12（1480）年

12　大石寺編『日興上人　日目上人詳伝』190頁の写真によれば弘安元（1278）年に書写

13　最古写本は日法本　末尾に「正応二（1289）年正月十四日書写了」とある

17　保田妙本寺に日目の写本が現存する　「永仁三（1295）年書写畢」とある

19　執行海秀は恵心の「法華即身成仏要記」の踏襲とする（『日蓮聖人遺文辞典』503頁）　初見は日叡の「本迹問答十七条」（1337年成立）を少し遡る頃とされる（山上本935頁）

25　常目「種種災難起御勘文」（昭定2730）、祐目「種種災難根源御勘文」（昭定2735）に比定

27　朝外にしたのは鈴木一成説による　鈴木一成『日蓮聖人遺文の文献学的研究』（山喜房仏書林・1965年105頁 以下　鈴木○頁と記す）

29　断簡新発見「日蓮宗新聞」2010年12月20日号　しかしこれは別の御書

32　真蹟末文に「日郷法師」の「建武元年（1334）六月十六日」との書入れあり（『千葉県の歴史　資料編中世３』477p）

33　伝日目写本とされているが、大石寺蔵「伝日興写本」と同筆であり「＊興」と表記した　なお題号は伝日目写本は「法華経題目抄」、昭定は「法華題目抄」と違う

34　日像「曼荼羅相伝」で引用（宗全1-229）「文保二（1318）年十二月十八日　日像在判」と

37　1330年書写の日進写本存（鈴木35頁）

42　日進の写本は1325年頃とする説による
（池田令道「『立正観抄』の真偽問題について」興風19号　2007年　300頁）

43　注記42 と同

45　『縮刷遺文』の目次では中山に真蹟存としているがこれは富木常忍筆の「草木成仏事」

50　真蹟末に日道の1336年の識語あり　本抄の一部分（32～33紙）は日頂筆とされる

51　中條暁秀『日蓮宗上代教学の研究』（平楽寺書店　1996年）で「金綱集」（-1314年）の文と比較しているが、宣旨や御教書の引用に共通の部分があるだけなので、ここでは金綱集を初見としない。また「御書目録日記之事」（-1400年）に「念仏者無間地獄御書」があるがこれとは別の御書と考え、初見文献として採用しない。

54　金綱集に「聖人御書也」とあり（宗全13-238）

56　「月水御書」と一連の書とされていたのを三宝寺録外で分離独立　平賀録内本第一類

59　伝讃岐本門寺曽存（鈴木102頁）　日住書に康正三（1457）年と記述あり

60　日隆（1385～1464）の「私新抄」に引用（宗全8-375）

62　日道（1283-1341）の「三師御伝土代」（日目伝は日時作か）に引用（富士宗学要集5-3　以下富要と記す）

78　嘉暦四年（1329年）の日向の申状で引用（宗全1-36）

80　日興の「原殿御返事」の追申に「四十九院の大衆の送られ候し時の申状」（新版2173頁）とある。正応元（1288）年12月　大石寺日精の「家中抄」（富要5-149）に

全文所収

84　1316年は北山本門寺蔵日興写本の奥書による（坂井法曄「日興写本『一代五時鶏図』をめぐって」『興風』14号　57頁）

86　51の注と同様の理由によりここでは金綱集を初見とせず「御書目録日記之事」とした。

95　円明日澄（1441-1510）の「啓運抄」（成立は1503年）に酷似する文が多出する。最古の写本は1537年の日経本。要法寺日辰が永禄元年「負薪記」（1558年）で引用している。版本の最初は1654年。左京日教は全く言及していない。

96　「御講聞書」は日向記となっているが、最初の公開は元禄本（版本）。この版本の奥書には「明応九年」とあるので1500年を初見とする。日澄の「啓運抄」（1503年）に酷似する文が多出するのは「御義口伝」と同じである。最古の写本は1528年の本国寺日増本。

101　身延に真蹟の墨痕有り（寺尾英智『日蓮聖人真蹟の形態と伝来』雄山閣出版　242頁　以下寺尾○頁と記す）日朝は日目弟子　茨城富久城寺に写本存

102　日興「安国論問答」で引用（宗全2-74）、大石寺蔵により-1298年

107　日道「三師御伝土代」に引用（富要5-1）

115　昭定の「三宝寺録外」（2788頁）にはないが縮遺目次には「三宝寺十八」とある。＊は昭定№73（新版149）「金吾殿御返事」と比定する寺尾説による（寺尾105頁）

132　応永16（1409）年の日隆写本存（宮崎英修『日蓮聖人研究』山喜房　2011年　339頁）もある。日頂の「本尊抄得意抄副書」（1308年）は、真偽未決書により不採用（宗全1-43）。

138　要法寺に日興写本存（「興筆対照録」『日宗新報』1040号　1908年）という。

141　日頂引用（宗全1-43）　徳治三年（1292）とあるが内容的に疑わしいので不採用

147　本文代筆　署名花押は真蹟

151　日健写本奥書に「中山祐師御本写之訖」とあり、また真蹟は真間にあるとする（冠賢一「日蓮遺文『録外御書』の書誌学的考察」 高木豊・冠賢一編『日蓮とその教団』所収　吉川弘文館・1999年８頁）祐目（昭定2736頁）で本抄を昭定№197「真言宗僻見事」としているが、鈴木説は昭定№159（新版№152「大田殿許御書」）に

比定（鈴木18頁）

160　越後の本成寺三世日陣の「授戒之作法」（応永18年・1411年）に「蓮祖大聖人作文三大秘法抄」とある。また日陣と交流のあった八品派日隆（1385～1464）の所持本には「三大秘法抄…大ニ不審也」と記している。ここでは1411年を初見とする。（東佑介「三大秘法抄に関する一考察」『法華仏教研究12』所収）　なお『昭定』が参考にした日親本は1442年の写本

162　草案断簡存・身延草案曽存　日澄16歳の時（1277年）の第一転本を北山の信伝が書写したものがある

166　日朝「観心本尊抄見聞巻八」（宗全16-362）で引用　文明８（1476）年

167　祐目（昭定3-2738）に「175法蓮抄焼米抄」とあり焼米抄であれば本抄に比定できる

196　日朝の師・日出の写本、応永23年（1416）による。（山上本250頁）

204　日法（-1341年）「本迹相違」に引用（宗全１-144）

207　「頼基陳状」再治本・日興写本の奥書では「正和五年」（1316年）とある。未再治本は日澄写本　（-1310年）で、これを初見とした。

221　日道（1283-1341）の「三師御伝土代」（富要5-5）に引用

234　建武元（1334）年、日興弟子佐渡日満の「方便品読不之問答記録」（宗全2-394）に引用

237　『日蓮聖人遺文辞典』1020頁により祐目を初見とした

238　中山法華経寺資料51「法義書状」に「応永十七（1410）年」（『市川市史』第五巻277頁）という記述もある

244　「日朝録外」昭定2782頁下段の「妙一尼御前」を本抄に比定

255　平賀本土寺に真蹟が現存するが「平賀本御書目録」にはない

256　日隆（1385-1464）所持本による

275　日諦の「祖書目次」（1779年刊行）　日諦の編年体御書目録が初見

279　日像引用「祈祷経之事」（宗全1-219）に「文保二（1318）年正月月十三日 日像在判」と

280　刊本録外は追伸のみ　文章初見は『他受用御書』

284　日順写本奥書によれば1317年の書写

289　日朝筆写の遺文集巻物『御書　無作三身事』（『身延文庫典籍目録下』241）に比定（山上本708頁）

303　『日蓮聖人遺文辞典』は日朝写本、昭定脚注では延山本ありとするが初見は刊本録外

305　『日蓮聖人遺文辞典』（83頁）では他受用御書に収録とするがない。ここでは『三宝寺録外』を初見とした

312　大石寺編『平成新編日蓮大聖人御書』によれば日興写本存

313　日朝の「身延山御書見聞」（宗全16-379）文明９（1477）年　また元祖化導記（『日蓮聖人伝記集』42頁）に「御消息云文明十一（1479）年六月十七日初テ庵ヲ結」とあり

316　本文は日興の代筆・自署花押は真蹟

336　『全集』の1573頁「南條殿御返事」の前半部分と『昭和定本』断簡323と『全集』の1567頁「上野殿御書」を合体

347　『縮刷遺文』では大石寺現存、大石寺の『平成校定日蓮大聖人御書』では大石寺曽存

352　1317年は日順写本の奥書（2009年２月の「御書システム」のコラム「三位日順筆『三三蔵祈雨事』について」の掲載写真による）

354　日法（-1341）「本迹相違」で引用　（宗全1-145）

358　堀日亨によって他受用御書の「諸法実相抄」から分離し、御書全集（1467頁）に収録

363　英園日英の『御書続集』（1842年）にある

384　『縮刷遺文』の注記に文化七（1810）年に池上御開帳の折り真蹟を写したとある（縮遺1088）が池上に現存せず

385　日弁の「円極実義抄」（1308年）に引用（宗全1-78）ただし真偽未決書のため不採用

389　1480年日朝「報恩抄私見聞第二」（宗全16-97）で引用もある。

403　昭定改訂増補二刷までは頂妙寺に断簡存とされるが、偽筆である（山上本1044頁）

412　保田日要（1436-1514）の「本迹違目抄」に引用（興風叢書20）

414　日朝の遺文集巻物にあり（山上本718）

415　中山日典「中山霊宝之注文」（1592年）にある（日蓮教学研究所紀要第14号）『全集』では「来臨曇華御書」『新版』の本文は『昭定』№425を基にしている

421　日朝「開目抄私見聞第二」宗全15-263で引用 文明十一（1479）年

424　中山蔵「日侃御手前ニ有之御霊宝」（1591年）に記される（日蓮教学研究所紀要第14号所収 資料紹介６頁）

452　要法寺日辰（1508～1576）の「祖師伝」（富要5-23）に全文引用。本文は『日蓮宗宗学全書』（2-145）『日興上人全集』（興風談所　347頁　以下『興全』と略す）にも掲載されている。

453　日朝（1422～1500）の「立像等事」で原殿御返事の一部を引用（『本尊論資料』113頁）要法寺日辰（1508～1576）の「祖師伝」（富要5-25）に全文引用。『富要』8-10では堀日亨が「中古の写本要法寺に在り」と、これは日辰本のことか。宗全は2-170興全は351頁

454　最古写本は日算本（日算は詳細不明） 応永29（1422）年（富要5-59）

455　五人所破抄は重須学頭日順の作　日代写本存　末尾に「嘉暦三（1328）戊辰年七月草案　日順」とあるが日順や日代の文字ではない（興全　300頁） 日順の文字であれば初見は1328年となるが、ここでは初見年代を日代（1294～1394）の没年の年とした。

456　古写本は不明 『歴代法主全書』（１巻97頁 大石寺）では大石寺蔵写本、宗全（2-133）では天文五年（1536年）の保田日我（1508～1586）の写本によっている。

457　本是院日叶（のち左京日教）著「百五十箇条」（1480年）に多数引用、同著「類聚翰集私」（1488年）でも多数引用。他に要法寺日辰（1560年）、保田日山（1564年）、保田日我（1572年）などの写本がある。

458　最古の写本として1391年書写の大石寺日時本があるとされるが日時と異筆。また重須学頭日順（-1354）の「本因妙口決」と妙蓮寺日眼（-1384）の「五人所破抄見聞」が引用しているが日順著・日眼著については確実とは言えない。（拙論「法主絶対論の形成とその批判」『東洋学術研究』32号№２ 1993年 113-5頁） 本是院日叶（のち左京日教）の「百五十箇条」（1480年）に本因妙抄の一節（新版2227～8）が引用

されている（富要2-226）

459　「産湯相承事」は「日興これを記す」（新版2229頁）とあるように日興に仮託されている。本是院日叶（のち左京日教）の「百五十箇条」（1480年）に酷似する文がある（富要2-177頁）のが初見　日教の「類聚翰集私」には全文が載っている（富要2-315～6頁）

460　461「身延相承書」「池上相承書」共に住本寺10世日広が1468年に重須で書写（富谷日震著『本宗史綱』要法寺　上236）　1480年に左京日教が「百五十箇条」で引用している。「池上相承書」も同様である。

図29　「一代五時図」を土台とした後人の作（『法華経研究』Ⅱ 350頁　宮崎英修）

図30　図29 と同

なし　最後の三書　「一代五時継図」「釈迦一代五時継図」「出家功徳御書」は御書全集では収録していたが、新版では収録していない。

「出家功徳御書」は会員の信行に資さないとして不収録にした（新版「凡例Ⅰ」）

新版№	全集頁	昭定№	題　号	現存率 昭定脚注	初見年代	初見文献	古写本者名	注記
1	1	23	◇唱法華題目抄	朝	-1333		**興**・澄	1
2	17	24	◎立正安国論	B	1289		興向高法源	**2**
3	33	69	◎安国論奥書	A	-1298			**3**
4	33	49	◎安国論御勘由来	A	1299	**常目**		
5	186	98	○開目抄	乾	1299	**常目**		
6	238	118	◎観心本尊抄	A	1281		興・高	**6**
7	255	119	◎観心本尊抄送状	A	1299	**常目**	高	
8	331	145	◎法華取要抄	A 興	1278		興（澄か）	**8**
9	256	181	◎撰時抄	B	1299	**常目**		
10	293	223	◎報恩抄	E 乾	1299	**常目**		
11	330	224	報恩抄送文	平 満	1480			**11**
12	338	242	◎四信五品抄	A	1278		興	**12**
13	343	247	◎下山御消息	D 法澄	1289		法・澄	**13**
14	365	307	◇本尊問答抄	興源	1299	**常目**	興・源	
15	383	7	一生成仏抄	朝	-1500	**朝外**		
16	385	8	主師親御書	満	-1580	**受外**		
17	390	10	◇一代聖教大意	目	1295		目	**17**
18	406	11	一念三千理事	平	1344	**祐目**		
19	410	続13	十如是事	下条妙蓮寺本	1337	**日叡**		19
20	412	続14	一念三千法門	満	-1583	**三外**		
21	417	16	十法界事	平	-1400	**日記**		
22	424	17	○爾前二乗菩薩不作仏事	朝	-1400	**日記**		
23	36	15	○守護国家論	平	1344	**祐目**		
24	なし	20	◎災難興起由来	A	1299	**常目**		
25	78	21	◎災難対治抄	A	1299	**常目**	進	25
26	427	22	◇十法界明因果抄	進	1344	**祐目**	進	
27	1447	27	同一鹹味御書	満	-1500	**朝外**		27
28	438	29	教機時国抄	朝	1344	**祐目**		
29	443	31	○顕謗法抄	乾	1344	**祐目**		29
30	461	33	持妙法華問答抄	平	-1400	**日記**		
31	470	40	女人成仏抄		1473	**健外**		
32	1499	41	◎薬王品得意抄	B	1334		時	**32**
33	940	44	◎法華経題目抄	D 平	-1298		**＊興**	33
34	474	43	◇聖愚問答抄	延山本	1318		像	**34**
35	1344	113	○祈祷抄	金 朝	-1314	**金綱**		
36	501	124	◇如説修行抄	尊	1297		**尊**	
37	505	125	○顕仏未来記	進	1330		進	**37**
38	510	134	◇当体義抄	金 朝	-1314	**金綱**		
39	519	135	当体義抄送状		-1583	**三外**		

新版№	全集頁	昭定№	題　号	現存率 昭定脚注	初見年代	初見文献	古写本者名	注記
40	520	136	◎小乗大乗分別抄	D	-1519	**意外**		
41	536	156	◇顕立正意抄	春　朝	1299	**常目**	春	
42	527	158	◇立正観抄	進　日朝	1325		進・日朝	**42**
43	534	165	◇立正観抄送状	進　日朝	1325		進・日朝	**43**
44	589	19	二乗作仏事	延外　朝	-1500	**朝外**		
45	468	138	○木絵二像開眼之事	平	1299	**常目**	常忍	45
46	1232	46	◎善無畏抄	D	-1333		**興**	
47	1516	168	◎神国王御書	B	-1500	**朝外**		
48	544	270	法華初心成仏抄	朝	1337	**日叡**		
49	558	348	三世諸仏総勘文教相廃立	平	1344	**祐目**		
50	576	395	◎諫暁八幡抄	B	1299	**常目**		50
51	97	6	念仏無間地獄抄	満	-1583	**三外**		51
52	150	4	蓮盛抄	満	-1583	**三外**		
53	375	5	◇諸宗問答抄	代	-1394		**代**	
54	120	36	◇法華真言勝劣事	金　朝	-1314	**金綱**		54
55	104	37	当世念仏者無間地獄事	平	1448	**平内**		
56	111	35	題目弥陀名号勝劣事	平	1448	**平内**		56
57	134	77	真言天台勝劣事	朝	1344	**祐目**		
58	161	続23	早勝問答	三	-1583	**三外**		
59	117	94	◎法華浄土問答抄	D	1457			**59**
60	154	96	◎八宗違目抄	A	-1464			**60**
61	142	110	◇真言見聞	金　平	-1314	**金綱**		
62	169	50	◇宿屋入道への御状	朝	-1341		**道**	62
63	なし	51	◎宿屋入道への再御状	A	1952	**昭定**		
64	169	52	北条時宗への御状	満	1503	**啓運**		
65	170	53	宿屋左衛門光則への御状	満	1536	**註画**		
66	171	54	平左衛門尉頼綱への御状	満	1536	**註画**		
67	172	55	北条弥源太への御状	満	1536	**註画**		
68	173	56	建長寺道隆への御状	満	1536	**註画**		
69	174	57	極楽寺良観への御状	満	1503	**啓運**		
70	174	58	大仏殿別当への御状	満	1536	**註画**		
71	175	59	寿福寺への御状	満	1536	**註画**		
72	175	60	浄光明寺への御状	満	1503	**啓運**		
73	176	61	多宝寺への御状	満	1536	**註画**		
74	176	62	長楽寺への御状	満	1536	**註画**		
75	177	63	弟子檀那中への御状	満	1503	**啓運**		
76	179	83	◎行敏御返事	C	1473	**日健**		
77	180	84	○行敏訴状御会通	朝	-1400	**日記**		
78	183	85	一昨日御書	朝	1329			**78**

新版№	全集頁	昭定№	題　号	現存率 昭定脚注	初見年代	初見文献	古写本者名	注記
79	184	200	◎強仁状御返事	A	1344	**祐目**		
80	848	なし	四十九院申状		1288			**80**
81	849	345	◎滝泉寺大衆陳状	B	1344	**祐目**		
82	612	図09	◎一代五時図	A	1344	**祐目**		
83	618	図13	◎一代五時図	A	1344	**祐目**		
84	623	図20	◎一代五時鶏図	A	1316		興	**84**
85	なし	図25	◎一代五時鶏図	A	1595	**満外**		
86	86	図07	念仏者追放宣旨事	金 平	-1400	**日記**		86
87	695	図15	◎浄土九品之事	A	1904	**縮一**		
88	128	図16	◇真言七重勝劣	朝	-1314	**金綱**		
89	595	図17	◎小乗小仏要文	A	1344	**祐目**		
90	602	図21	◎和漢王代記	A	1904	**縮一**		
91	538	図19	上行菩薩結要付属口伝	満	-1519	**意外**		
92	599	図14	◎日月の事	A	1344	**祐目**		
93	692	図26	○十宗判名の事		1842	**日騰**		
94	693	図35	◎五行御書	A	1842	**日騰**		
95	701	講1	御義口伝		1503	**啓運**		95
96	804	講2	御講聞書		1500			**96**
97	881	76	善無畏三蔵抄	満	-1580	**受外**		
98	891	91	○佐渡御勘気抄	満	1344	**祐目**		
99	892	123	義浄房御書	朝	1473	**健外**		
100	896	148	○聖密房御書	金 朝	-1314	**金綱**		
101	901	149	◎別当御房御返事	E 延外	-1364		**日朝**	101
102	893	205	○清澄寺大衆中	平	-1298		興	**102**
103	900	286	華果成就御書	朝	-1500	**朝外**		
104	935	28	四恩抄	朝	-1400	**日記**		
105	904	164	◎新尼御前御返事	E 朝	-1500	**朝外**		
106	908	382	◎大尼御前御返事	A	1904	**縮一**		
107	909	176	○種々御振舞御書	朝 平	-1341		**道**	107
108	926	213	◎光日房御書	E 平	-1400	**日記**		
109	1289	236	破良観等御書		-1652	**延外**		
110	934	381	◎光日尼御返事	A	1904	**縮一**		
111	932	409	○光日上人御返事	朝	-1500	**朝外**		
112	なし	440	◎出雲尼御前御書	A	1966	**新定**		
113	902	341	寂日房御書		-1500	**朝外**		
114	178	66	◎問注得意抄	A	1299	**常目**		
115	949	67	◎富木殿御消息	A	1595	**満外**		115
116	1515	74	◎富木殿御返事	A	1299	**常目**		
117	950	72	○真間釈迦仏御供養逐状	朝	1299	**常目**		

新版No.	全集頁	昭定No.	題　号	現存率 昭定脚注	初見年代	初見文献	古写本者名	注記
118	949	75	富木殿御返事		-1500	**朝外**		
119	950	86	◎土木殿御返事	A	1299	**常目**		
120	951	92	◎寺泊御書	A 朝	1299	**常目**		
121	955	93	富木入道殿御返事	朝	-1500	**朝外**		
122	956	100	佐渡御書	朝	1334	**日全**		
123	962	101	◎富木殿御返事	A	1299	**常目**		
124	139	106	◎真言諸宗違目	A	1299	**常目**		
125	963	126	◎土木殿御返事	A	1299	**常目**		
126	964	131	◎土木殿御返事	A	1299	**常目**		
126	なし	414	◎（越州嫡男並妻尼事）	A	1952	**昭定**		
127	965	140	◎法華行者逢難事	A	1299	**常目**		
128	964	144	◎富木殿御書	A	1299	**常目**		
129	968	162	◎富木殿御返事	A	1299	**常目**		
130	985	163	◎可延定業書	A	1299	**常目**		
131	971	195	◎御衣並単衣御書	A	1299	**常目**		
132	972	199	観心本尊得意抄	平	-1400	**日記**		132
133	974	157	◎聖人知三世事	A	1299	**常目**	澄	
134	975	211	◎富木尼御前御返事	A	1299	**常目**		
135	976	212	◎忘持経事	A	1299	**常目**	澄	
136	979	232	◎道場神守護事	A	1299	**常目**	澄	
137	969	255	◎富木殿御書	A	1299	**常目**		
138	982	277	◎始聞仏乗義	A	1299	**常目**	興	138
139	995	294	◎治病大小権実違目	A	1299	**常目**	時	
140	980	310	◎常忍抄	A	1299	**常目**	澄	
141	987	335	四菩薩造立抄	満	1461	**日実**		141
142	987	351	◎富城殿御返事	A	1299	**常目**		
143	990	352	◎富城殿女房尼御前御書	A	1299	**常目**		
144	なし	364	◎富城入道殿御返事	A	1299	**常目**		
145	991	367	◎諸経と法華経と難易の事	A	1299	**常目**		
146	1296	398	◎法衣書	A	1299	**常目**		
147	993	413	◎富城入道殿御返事	E 満	1299	**常目**	代筆	147
148	978	389	◎富木殿御返事	A	1299	**常目**		
149	999	73	◎金吾殿御返事	B 澄	-1310		**澄**	
150	1000	89	◎転重軽受法門	A	1299	**常目**		
151	1009	197	◎太田入道殿御返事	E 満	1473	**健外**		151
152	1002	159	◎大田殿許御書	A	1344	**祐目**		
153	1012	243	◎乗明聖人御返事	A	1344	**祐目**		
154	1013	265	太田殿女房御返事	平	-1400	**日記**		
155	1014	285	太田左衛門尉御返事	朝	-1500	**朝外**		

新版№	全集頁	昭定№	題　号	現存率 昭定脚注	初見年代	初見文献	古写本者名	注記
156	1018	308	大田殿女房御返事	平	-1400	**日記**		
157	なし	337	◎乗明上人御返事	A	1952	**昭定**		
158	1019	361	◎慈覚大師事	A	1344	**祐目**		
159	1005	370	◎大田殿女房御返事	A	1344	**祐目**		
160	1021	403	三大秘法禀承事	親	1411		隆・親	**160**
161	1024	154	◎曽谷入道殿御書	E 満	-1500	**朝外**		
162	1026	170	◎曽谷入道殿許御書	A	1299	**常目**	法	162
163	1025	171	曽谷入道殿御返事	朝	1337	**日叡**		
164	1040	175	◎法蓮抄	E 朝	1344	**祐目**		
165	1055	226	曽谷殿御返事	延山本	-1500	**朝外**		
166	1057	267	曽谷入道殿御返事	満	1476			**166**
167	1059	339	曽谷殿御返事	朝	1344	**日全**		167
168	1065	408	◇曽谷二郎入道殿御返事	興	-1333		**興**	
169	1070	45	秋元殿御返事	三	-1503	**啓運**		
170	1071	360	秋元御書	朝	1344	**祐目**		
171	1079	174	◎兄弟抄	C	1344	**祐目**		
172	1094	240	兵衛志殿女房御書		-1583	**三外**		
173	1104	248	◎兵衛志殿御返事	A	1595	**満外**		
174	1089	254	◎兵衛志殿御返事	A	-1500	**朝外**		
175	1097	264	兵衛志殿女房御返事	三	-1583	**三外**		
176	1090	266	◎兵衛志殿御返事	B	-1400	**日記**		
177	1097	296	◎兵衛志殿御返事	A	-1583	**三外**		
178	1095	260	◎兵衛志殿御書	E 興	-1310		興（**澄**か）	
179	1098	318	◎兵衛志殿御返事	C	-1583	**三外**		
180	なし	291	◎兵衛志殿御返事	A	1920	**縮二**		
181	1100	328	◎孝子御書	C	-1583	**三外**		
182	1101	385	◎両人御中御書	A	1662	**刊外**		
183	1108	353	◎兵衛志殿女房御返事	A	-1652	**延外**		
184	1102	355	右衛門大夫殿御返事	満	1473	**健外**		
185	1108	続41	兵衛志殿御返事		1904	**縮一**		
186	1103	396	◎大夫志殿御返事	D	-1583	**三外**		
187	1105	405	八幡宮造営事	延外	-1500	**朝外**		
188	1105	419	大夫志殿御返事	満	-1583	**三外**		
189	1109	78	四条金吾女房御書	朝	-1500	**朝外**		
190	1110	79	月満御前御書		-1580	**受外**		
191	1111	82	四条金吾殿御書	延山本	-1580	**受外**		
192	1113	87	四条金吾殿御消息	朝	-1500	**朝外**		
193	1114	104	同生同名御書	満	-1500	**朝外**		
194	1116	105	四条金吾殿御返事	朝	-1500	**朝外**		

新版No.	全集頁	昭定No.	題　号	現存率 昭定脚注	初見年代	初見文献	古写本者名	注記
195	1118	112	◇四条金吾殿御返事	興	-1333		**興**	
196	1125	137	呵責謗法滅罪抄	満	1416			**196**
197	1132	152	主君耳入此法門免与同罪事	平	-1400	**日記**		
198	1134	160	◎四条金吾殿女房御返事	C	-1400	**日記**		
199	1136	169	四条金吾殿御返事		-1580	**受外**		
200	1137	173	○王舎城事	朝	-1400	**日記**		
201	1139	188	四条金吾殿御返事		-1580	**受外**		
202	1140	166	○瑞相御書	延外 朝	-1500	**朝外**		
203	1143	219	四条金吾殿御返事	満	1473	**健外**		
204	1144	220	◎四条金吾釈迦仏供養事	E 平	-1341			**204**
205	1148	228	四条金吾殿御返事	平	-1400	**日記**		
206	1150	245	◎四条金吾殿御返事	E 満	-1519	**意目**		
207	1153	249	◇頼基陳状	興	-1310		興 **澄**	207
208	1163	250	◎四条金吾殿御返事	E 朝	-1400	**日記**		
209	1165	257	○四条金吾殿御返事	朝	-1400	**日記**		
210	1170	262	○崇峻天皇御書	朝	1344	**祐目**		
211	1170	258	四条金吾殿御返事		1503	**啓運**		
212	1175	273	○四条金吾御書	意 平	-1400	**日記**		
213	1178	295	◎中務左衛門尉殿御返事	A	-1652	**延外**		
214	1183	312	四条金吾殿御返事	平	-1400	**日記**		
215	1185	316	四条金吾殿御返事	満	-1519	**意外**		
216	1187	327	○日眼女造立釈迦仏供養事	平	1344	**祐目**		
217	1178	331	◎陰徳陽報御書	A	1904	**縮一**		
217	なし	313	◎不孝御書	A	1952	**昭定**		
218	1180	340	○四条金吾殿御返事	朝	-1400	**日記**		
219	1189	343	◎聖人御難事	A	1344	**祐目**		
220	1192	347	四条金吾殿御返事	満	1473	**健外**		
221	1193	384	◇四条金吾殿御返事	満	-1341		**道**	221
222	1195	392	四条金吾許御文	朝	-1400	**日記**		
223	1198	424	◎四条金吾殿御返事	E 満	-1519	**意外**		
224	1123	114	経王御前御書	満	-1583	**三外**		
225	1124	128	経王殿御返事		1503	**啓運**		
226	1223	109	◎弁殿御消息	A	-1583	**三外**		
227	1224	129	◎弁殿並尼御前御書	A	-1583	**三外**		
228	なし	65	◎弁殿御消息	A	1952	**昭定**		
229	1225	222	◎弁殿御消息	C	-1583	**三外**		
230	1212	88	◎五人土籠御書	A	-1519	**意外**		
231	1213	90	土籠御書	満	-1500	**朝外**		
232	1288	13	○武蔵殿御消息	延外	1605	**日遠**		

新版№	全集頁	昭定№	題　号	現存率 昭定脚注	初見年代	初見文献	古写本者名	注記
233	1288	14	○十住毘婆娑論尋出御書	延外×	1904	**縮一**		
234	1199	34	月水御書	平	1334			**234**
235	1203	186	◎大学三郎殿御書	A	-1310		興（**澄**か）	
236	1264	64	◎御輿振御書	D	1473	**健外**		
237	1265	70	◎法門申さるべき様の事	A	1344	**祐目**		237
238	1273	81	◎十章抄	A	-1400	**日記**		238
239	1276	281	教行証御書	朝	-1500	**朝外**		
240	1213	107	◎日妙聖人御書	D	1344	**祐目**		
241	1222	132	◎乙御前母御書	A	1904	**縮一**		
242	1218	190	乙御前御消息	朝	-1400	**日記**		
243	なし	120	◎妙一尼御返事	A	1904	**縮一**		
244	1252	180	◎妙一尼御前御消息	A	-1500	**朝外**		244
245	1255	366	妙一尼御前御返事		1473	**健外**		
246	1226	142	弥源太殿御返事	朝	-1500	**朝外**		
247	1228	151	弥源太入道殿御返事	満	-1500	**朝外**		
248	1229	303	弥源太入道殿御消息	朝	-1500	**朝外**		
249	1231	179	◎桟敷女房御返事	D 満	-1583	**三外**		
250	1232	401	◎桟敷女房御返事	A	1662	**刊外**		
251	1237	214	妙密上人御消息	満	-1580	**受外**		
252	1242	227	道妙禅門御書	満	-1583	**三外**		
253	1286	393	◎智妙房御返事	A	1344	**祐目**		
254	1263	397	◎王日殿御返事	E	-1500	**朝外**		
255	1284	280	◎諸人御返事	A	1473	**健外**		255
256	1294	283	◎檀越某御返事	A	-1464			**256**
257	1284	407	小蒙古御書	満	1473	**健外**		
258	1448	25	椎地四郎殿御書	朝	-1500	**朝外**		
259	1445	26	船守弥三郎許御書	満	1473	**健外**		
260	1452	368	○新田殿御書		1842	**日騰**		
261	1305	117	妙法曼陀羅供養事	平	-1400	**日記**		
262	1307	194	阿仏房尼御前御返事	朝	-1500	**朝外**		
263	1304	209	阿仏房御書	朝	-1500	**朝外**		
264	1317	292	阿仏房御返事	満	-1500	**朝外**		
265	1309	302	◎千日尼御前御返事	A	-1400	**日記**		
266	1315	315	千日尼御前御返事	平	-1400	**日記**		
267	なし	断222	◎故阿仏房讃歎御書	A	1988	**四補**		
268	1318	371	◎千日尼御返事	B	-1400	**日記**		
269	1324	182	◎国府尼御前御書	A	-1464		**隆**	
270	1323	172	◎国府入道殿御返事	B	-1583	**三外**		
271	1326	178	◎一谷入道御書	D 朝	-1400	**日記**		

新版No.	全集頁	昭定No.	題　号	現存率 昭定脚注	初見年代	初見文献	古写本者名	注記
272	なし	244	◎中興政所女房御返事	A	1952	**昭定**		
273	1331	354	中興入道消息	平	-1400	**日記**		
274	1335	284	◎是日尼御書	A	-1652	**延外**		
275	1336	続29	遠藤左衛門尉御書		1779			**275**
276	1336	95	生死一大事血脈抄	朝	1473	**健外**		
277	1338	97	草木成仏口決	満	1473	**健外**		
278	1340	102	最蓮房御返事	朝	-1400	**日記**		
279	1356	115	◇祈祷経送状	像 朝	1318		**像**	279
280	1358	122	諸法実相抄		-1500	**朝外**		280
281	1362	続40	十八円満抄	満	-1580	**受外**		
282	1368	68	六郎実長御消息	満	1503	**啓運**		
283	1374	80	南部六郎殿御書	延外×	1904	**縮一**		
284	1369	127	◇波木井三郎殿御返事	興	1317		興・順	**284**
285	1464	241	六郎次郎殿御返事	延山本	-1583	**三外**		
286	なし	443	◎御所御返事	A	1966	**新定**		
287	1375	416	○地引御書	朝	-1400	**日記**		
288	1376	433	○波木井殿御報	朝平意	1344	**祐目**	興代筆	
289	1210	387	○大豆御書	延外	-1500			**289**
290	1599	311	◎初穂御書	A	1842	**日騰**		
291	1286	221	◎覚性房御返事	A	1904	**縮一**		
292	なし	436	◎覚性御房御返事	A	1959	**昭四**		
293	なし	216	◎筍御書	A	1952	**昭定**		
294	1285	289	◎霖雨御書	A	1904	**縮一**		
295	1377	208	大井荘司入道御書	満	-1583	**三外**		
296	1493	38	◎南条兵衛七郎殿御書	D 興	-1333		**興**	
297	1504	39	上野殿後家尼御返事	朝	-1500	**朝外**		
298	1507	147	◎上野殿御返事	B	-1583	**三外**		
299	1508	153	◇上野殿御返事	興	-1298		**＊興23**	
300	1510	161	◎春の祝御書	A	1904	**縮一**		
301	1511	177	◇上野殿御返事	興	-1298		**＊興28**	
302	1541	185	◎南条殿御返事	C 興	-1298		**＊興31**	
303	1513	431	上野殿御書	延山本	1662	**刊外**		303
304	1514	193	単衣抄	朝	1344	**日全**		
305	1526	202	上野殿御消息	満	-1583	**三外**		305
306	1529	206	◇南条殿御返事	興	-1298		**＊興21**	
307	1530	210	南条殿御返事	満	-1500	**朝外**		
308	1531	215	◎南条殿御返事	B	-1400	**日記**		
309	1535	229	九郎太郎殿御返事	朝	-1500	**朝外**		
310	1536	234	本尊供養御書		1408	**日隆**		

新版№	全集頁	昭定№	題　号	現存率 昭定脚注	初見年代	初見文献	古写本者名	注記
311	1537	246	◎上野殿御返事	D 興	-1298		**＊興25**	
312	1512	252	◎上野殿御返事	B	-1333		**興**	312
313	1542	268	○庵室修復書	満	1477			**313**
314	1544	276	◇上野殿御返事	興	-1298		**＊興6**	
315	1545	282	◇上野殿御返事	興	-1298		**＊興20**	
316	なし	439	◎南条殿御返事	A	1966	**新定**		316
317	1547	290	◇南条殿女房御返事	興	-1298		**＊興4**	
318	1547	299	◎種々物御消息	D 興	-1298		**＊興5**	
319	1549	300	◇時光御返事	興	-1298		**＊興19**	
320	1551	306	上野殿御返事	延徳古本	-1400	**日記**		
321	1552	314	◇上野殿御返事	興	-1298		**＊興27**	
322	1553	317	◎九郎太郎殿御返事	C	-1500	**朝外**		
323	1554	325	◎上野殿御返事	C 朝	1448	**平内**		
324	1555	330	上野殿御返事	朝	-1500	**朝外**		
325	1559	338	◇上野殿御返事	興	-1298		**＊興22**	
326	1560	350	◎上野殿御返事	A	-1298		**＊興17**	
327	1561	357	◎上野殿御返事	A	-1298		**＊興26**	
328	1562	359	◎上野殿御返事	E	-1583	**三外**		
329	1563	363	上野殿御返事	満	-1500	**朝外**		
330	1564	372	◎上野殿御返事	C	-1333		**興**	
331	1566	377	◇上野殿御返事	興	-1298		**＊興30**	
332	1567	379	◎上野殿御書	B	-1500	**朝外**		
333	1566	380	◎南条殿御返事	A	1904	**縮一**		
334	1568	388	◎上野殿母御前御返事	D 朝	-1500	**朝外**		
335	1580	415	◎上野尼御前御返事	E 朝	-1500	**朝外**		
336	1573	391前	◎上野殿母御前御返事	A	1904	**縮一**		336
336	1567	406	◎上野殿母御前御返事	A	1904	**縮一**		
337	1574	394	◇上野殿御返事	興	-1298		**＊興18**	
338	1575	400	◎上野尼御前御返事	A	-1500	**朝外**		
339	1577	402	◇上野殿御返事	興	-1298		**＊興24**	
340	1578	411	南条殿御返事	朝	1448	**平内**		
341	1579	412	上野殿御返事	満	-1583	**三外**		
342	1583	418	◎上野殿母御前御返事	A	-1500	**朝外**		
343	なし	326	◎上野郷主等御返事	A	1605	**日遠**	模刻存	
344	1585	426	春初御消息	満	1408	**日隆**		
345	1586	429	◎法華証明抄	B	-1298		**＊興29**	
346	1452	271	◇実相寺御書	興 満	-1333		**興**	
347	1454	263	○石本日仲聖人御返事		1904	**縮一**		347
348	なし	437	◎越後公御房御返事	A	1959	**昭四**		

新版No.	全集頁	昭定No.	題　号	現存率 昭定脚注	初見年代	初見文献	古写本者名	注記
349	なし	438	◎伯耆殿並諸人御書	A	1959	**昭四**		
350	1456	344	◇伯耆殿等御返事	興	-1333		**興**	
351	1455	346	◇聖人等御返事	興	-1333		**興**	
352	1468	183	◎三三蔵祈雨事	B	1317		**順**	352
353	1472	196	蒙古使御書	朝	1473	**健外**		
354	1474	217	◎宝軽法重事	A	-1341		**法**	354
355	1474	225	西山殿御返事		-1580	**受外**		
356	1477	238	○西山殿御返事	延外	1605	**日遠**		
357	なし	441	◎河合殿御返事	A	1988	**四補**		
358	1467	なし	高橋殿御返事		-1580	**受外**		358
359	1458	187	◎高橋入道殿御返事	C	-1298		**＊興1**	
360	1457	189	◇高橋殿女房御返事	興	-1298		**＊興2**	
361	1479	191	○妙心尼御前御返事	興	-1298		**＊興15**	
362	1477	192	◇妙心尼御前御返事	興	-1298		**＊興7**	
363	1465	203	◎滅劫御書	A	1842			**363**
364	1482	349	◇持妙尼御前御返事	興	-1298		**＊興16**	
365	1483	365	◇妙心尼御前御返事	興	-1298		**＊興13**	
366	1479	297	◇窪尼御前御返事	興	-1298		**＊興3**	
367	1481	333	◎窪尼御前御返事	E　興	-1298		**＊興11**	
368	1483	356	◇窪尼御前御返事	興	-1298		**＊興12**	
369	1485	369	◇窪尼御前御返事	興	-1298		**＊興10**	
370	1485	420	◇窪尼御前御返事	興	-1298		**＊興9**	
371	1478	288	◎窪尼御前御返事	C	-1298		**＊興8**	
372	1476	422	◇窪尼御前御返事	興	-1298		**＊興14**	
373	1378	207	◎松野殿御消息	E　満	-1519	**意外**		
374	1381	231	松野殿御返事	朝	-1500	**朝外**		
375	1387	235	松野殿御消息	満	-1583	**三外**		
376	1388	261	松野殿御返事	三	-1583	**三外**		
377	1388	274	◎松野殿御返事	E　満	1408	**日隆**		
378	1390	287	妙法尼御返事	朝	-1500	**朝外**		
379	1390	329	松野殿後家尼御前御返事	朝	-1400	**日記**		
380	1394	336	◎松野殿女房御返事	E　朝	1408	**日隆**		
381	1396	272	◎松野尼御前御返事	A	1904	**縮一**		
382	1395	378	松野殿女房御返事	三	-1583	**三外**		
383	1396	373	浄蔵浄眼御消息	三	-1583	**三外**		
384	1486	続31	三沢御房御返事		1810			**384**
385	1487	275	◇三沢抄	興	-1310		興（**澄**か）	385
386	1431	184	◇浄蓮房御書	興	-1310		興（**澄**か）	
387	1427	374	◎盂蘭盆御書	A	-1500	**朝外**		

新版№	全集頁	昭定№	題　号	現存率 昭定脚注	初見年代	初見文献	古写本者名	注記
388	1425	410	治部房御返事	満	-1500	**朝外**		
389	1420	376	内房女房御返事	満	1461	**日実**		389
390	1491	399	◎十字御書	A	1842	**日騰**		
391	1588	304	◎芋一駄御書	A	1904	**縮一**		
392	1452	271	◇四十九院御書	満	1473	**健外**		
393	1590	321	◎衆生身心御書	A	1842	**日騰**		
394	1589	320	◎閻浮提中御書	A	1842	**日騰**		
395	1584	421	大白牛車御消息		1473	**健外**		
396	1587	430	◎莚三枚御書	A	1842	**日騰**		
397	1596	230	◎白米一俵御書	A	1904	**縮一**		
398	1463	150	異体同心事	平	1344	**祐目**		
399	1435	332	新池殿御消息	平	1344	**祐目**		
400	1439	続37	新池御書	満	1344	**日全**		
401	1397	386	刑部左衛門尉女房御返事	朝	-1500	**朝外**		
402	1206	47	星名五郎太郎殿御返事	満	-1519	**意外**		
403	1285	233	さだしげ殿御返事		1904	**縮一**		403
404	1449	253	弥三郎殿御返事	満	1503	**啓運**		
405	1243	256	日女御前御返事	朝	-1500	**朝外**		
406	1245	293	◎日女御前御返事	E 満	-1500	**朝外**		
407	1402	298	妙法尼御前御返事	満	-1519	**意外**		
408	1404	301	◎妙法尼御前御返事	B	-1400	**日記**		
409	1406	305	妙法比丘尼御返事	朝	1344	**祐目**		
410	1419	423	妙法比丘尼御前御返事	満	1595	**満外**		
411	1255	375	妙一女御返事	朝	1344	**日全**		
412	1260	383	妙一女御返事	三	-1514			**412**
413	1262	390	日厳尼御前御返事	満	-1500	**朝外**		
414	なし	324	◎堀内殿御返事	A	-1500			**414**
415	1300	425	◎内記左近入道殿御返事	A	1592			**415**
416	なし	32	◎論談敵対御書	A	1952	**昭定**		
417	1297	断163	◎釈迦御所領御書	A	1904	**縮一**		
418	1303	断120	◎釈迦如来御書	A	1904	**縮一**		
419	なし	断057	◎法然大罪御書	A	1959	**昭四**		
420	なし	71	◎故最明寺入道見参御書	A	1952	**昭定**		
421	1210	続22	寿量品得意抄		1479			**421**
422	1298	130	大果報御書	延外	-1652	**延外**		
423	1300	167	◎大悪大善御書	A	1904	**縮一**		
424	35	108	◎安国論正本の事	A	1591			**424**
425	なし	435	◎御衣布供養御書	A	1959	**昭四**		

新版No.	全集頁	昭定No.	題　号	現存率昭定脚注	初見年代	初見文献	古写本者名	注記
426	なし	断051 断052	◎依法不依人の事	A	1959	**昭四**		
427	なし	断39	◎良観不下一雨御書	A	1959	**昭四**		
428	なし	204	◎白米和布御書	A	1952	**昭定**		
429	なし	99	◎女人某御返事	A	1952	**昭定**		
430	1302	323	◎衣食御書	A	1904	**縮一**		
431	1543	269	大白牛車書		1503	**啓運**		
432	1302	239	◎現世無間御書	A	1904	**縮一**		
433	691	断070	◎三論宗御書	A	1842	**日騰**		
434	なし	断178	◎一大悪対治御書	A	1959	**昭四**		
435	1299	続54	根露枝枯御書	延外	-1652	**延外**		
436	1598	319	◎食物三徳御書	A	1842	**日騰**		
437	1599	334	○一大事御書		1952	**昭定**		
438	1573	391後	◎不妄語戒事	A	1904	**縮一**		
439	1598	断072	◎一定証伏御書	A	1842	**日騰**		
440	なし	417	◎老病御書	A	1952	**昭定**		
441	1599	断071	◎五大の許御書	A	1842	**日騰**		
442	なし	322	◎大学殿の事	A	1952	**昭定**		
443	なし	断158	◎但楽受持御書	A	1959	**昭四**		
444	1401	218	◇春麦御書		1904	**縮一**	模写本存	
445	1299	断164	◎南無御書	A	1904	**縮一**		
446	1300	断165	◎題目功徳御書	A	1904	**縮一**		
447	1301	断166	◎常楽我浄御書	A	1904	**縮一**		
448	1303	断121	◎破信堕悪御書	A	1904	**縮一**		
449	1297	続55	慧日天照御書	延外	-1652	**延外**		
450	1298	201	除病御書	延外	-1652	**延外**		
451	1301	断156	◎帰伏正法御書	A	1904	**縮一**		
452	なし	なし	美作房御返事〈日興書〉		-1576		日興筆	**452**
453	なし	なし	原殿御返事〈日興書〉		-1500		日興筆	**453**
454	1601	なし	富士一跡門徒存知の事		1422		日算写本	**454**
455	1610	なし	五人所破抄〈日順書〉		-1394		**日代**写本	455
456	1617	なし	日興遺誡置文		1536		**日我**写本	456
457	854	なし	百六箇抄		1480		**教**・辰.山.我	457
458	870	なし	本因妙抄		1480		時？.**教**.辰.我	458
459	878	なし	産湯相承事		1480		**教**・山	459
460	1600	続49	身延相承書		1468		**日広**　教	460
461	1600	なし	池上相承書		1468		**日広**　教	461
なし	658	図29	一代五時継図	三	-1583	**三外**		図29
なし	633	図30	釈迦一代五時継図		-1583	**三外**		図30

新版№	全集頁	昭定№	題　号	現存率 昭定脚注	初見 年代	初見 文献	古写本者名	注記
なし	1251	続36	出家功徳御書		1662	**刊外**		なし

［参考文献］

本稿の「一覧表」・「注記」の作成にあたり、多くの文献・論文を参考にさせていただいた。本来なら、その出典の巻数・頁、論文著者名まで明示するべきであるが、紙数の都合により省略した箇所が多数ある。ここでは主な参考文献名だけを紹介し、諸氏の学恩に対しては深く感謝申し上げる。

［文献］『富士宗学要集』創価学会　1974～79年
『日蓮正宗歴代法主全書』大石寺　1968～88年
『日蓮宗宗学全書』立正大学日蓮教学研究所編　1959～60年
『本尊論資料　新訂版』臨川書店・身延山短期大学　1988年
『日蓮遺文解題集成』山上弘道・興風出版　2024年
『日興上人全集』興風談所　2006年
［論文集］『法華仏教研究』法華仏教研究会
『興風』興風談所
『興風叢書』興風談所編
「御書システム　コラム」興風談所
『日蓮仏教研究』常円寺日蓮仏教研究所編
『シリーズ日蓮』1～5巻　春秋社
［年表・辞典類］『日蓮聖人遺文辞典　歴史編』身延山久遠寺　1985年
『同　教学編』 2003年
『日蓮宗事典』日蓮宗宗務院　1981年
『新編　日蓮宗年表』日蓮宗宗務院　1989年
『日蓮正宗富士年表』富士学林　1990年